

たむぎやま

平成 24 年
5 月 20 日発行

新潟県
田麦山地区館

田麦山地区・公民館年間事業

六月三日 (日)

グラウンドゴルフ大会

パークゴルフ場

八月十五日 (木)

子供みこし

田麦山一円

十月八日 (月)

スポーツフェスティバル

グラウンドゴルフ大会

パークゴルフ場

十月十四日 (日)

第四十回田麦山地区運動会

公民館グラウンド

十月二十一日 (日)

防災訓練と収穫祭

公民館グラウンド

一月十三日 (日)

田麦山雪まつりと賽の神

公民館グラウンド

毎月二十日たむぎやま新聞発行



『成人をむかえて』

内山 なつみ(松右衛門)

私は、今年二十歳を迎えることができました。ここまで育ててきてくれた家族、青春を共にした友人、地域の皆様に支えられてきたことにとっても感謝しています。

今、私は就職し一か月が過ぎ無我夢中の毎日ですが、人の為に働くことの喜びを感じています。この気持ちを忘れずに、これからも社会人として責任ある行動に努め、たくさんの方の事を吸収し、立派な大人に成長していきたいと思えます。

『成人を迎えて』

森山 浩督(金平家持)

長岡市川口地域で5月3日成人式が行われました。この日は、曇りでした。成人式に全員集まりませんでしたが大勢の方が参加しました。式が始まる前に少し時間があり声をかけ話しをして盛り上がりました。式が始まり皆が話しを静かに聞いていました。新成人の抱負では、代表者2人が堂々と抱負を述べました。その後集合写真を撮りました。撮り終えた後は、恩師からのビデオレター、中学校時代のスライド写真を見て皆が盛り上がりました。最後にくじ引きをして最高潮に盛り上がりました。ここまでこれたのも親をはじめ家族、恩師、友達のおかげです。親か家族に小さい時から苦労をかけました。社会人として責任感を持ち少しでも親か家族に恩返しをして社会に貢献していきたいです。



『燕岳（ツバクロウダケ）山荘にて』

星野 恒治（横浜市在住）

燕岳から槍ヶ岳へ向かう途中の東鎌根の岩稜を渡り歩いてみると、岩石の隙間に可憐なコマクサの花が風に揺れていた。風が止むと水が流れるような音が聞こえてくる。谷はずつと下方なのにこの高い稜線まで届くのが信じられない。雄大な北アルプスの山々を眺めていると大らかな気分になってきた。

（山は命をのばす。田中澄江）

定年で退職した夏、走友と一緒に登山ツアーに参加した時のことである。

穂高の駅から登山口の中房温泉までは、タクシーの相乗りで到着する。緑濃い山峡の奥には温泉宿が点在しており、そちらの方に気が注がれる。花より団子、山より温泉、しかし気を緩めてはいけない。登山靴の紐をきりと結び燕岳を目指した。

仰ぎ見る様な杉や松の樹林帯をゆつくりと稲妻型登る。まだ使い馴れていない登山杖を交互に持ち替えたりしながら、同行者二十七名の中に加わる。今会ったばかりの登山者の中には山岳に詳しい人も参加しており、あれはハクサンイチゲ、ミヤマシシウド、これは鳥甲（トリカブト）等々高山植物を説明してくれるから興味深く聞いている。鳥甲を見たのは初めてであるが、かつて新聞を賑わした鳥甲を想い出しぞっとした。（鳥甲は青い花が咲き漢方薬にもなるが、猛毒が含まれている）山の高度が上がると会話も途切れがちになり、前を進む人との間隔がだんだん開いてくる。ロードレースで鍛えた筈の私の健脚？も登山には通用しなかった。

出発して約五時間余り、雑木林を抜け出るといきなり展望が現れて燕山荘の前でた。風景は一変して見渡すかぎり百名山のような山々が眼前に広がる。「うわーすごい」到着する人たちから次々と歓声があがる。

燕岳は花崗岩と風化による砂 で水晶色の山肌を成し



ており登山者を優しく迎え入れていた姿に見えた。山荘の平地には赤・青などの鮮やかなテントが丸くなっており、夏の海辺の光景と同じであった。標高二七六三メートルの燕岳は真夏の八月でも夕方になると風が冷たい。山小屋のメニューは一般のレストランと変わらぬ（予約者のみ）ご馳走があり生ビールや日本酒まで備えてあるのには驚いた。おまけに今日は特別サービスという事で冷たい赤ワイン付きで嬉しくなる。軽やかな銘酒にいい旅気分。山小屋の宿泊は「蚕棚」と言われるほどで狭くて寝苦しい。

翌朝早く洗面所に行くと、蛇口から水が漏れていた。そこへちょうど山小屋の主人が現れて「水を無駄にしないように」と注意を受けた。俺が出したわけでもないのにと腹が立ったが主人の気持ちを察して言い訳はしなかった。しかし無理もない。山岳の水は雨水を溜めたり下から背負ってくるのだ。涸沢小屋ではヘリコプターが爆音を発しながら食糧品の積み降ろしをしているのも見事がある。

フルマラソンの後半でのど乾き頭がふらふらになったことがある。自分が今どこを走っているのか誰と一緒に来たのかわからなくなり意識が朦朧となった苦い経験がある。

たかが水、されど山岳の水は貴重な命の源泉。燕山荘の主人が水を大切に管理するのは登山者の健康と安全を確保するための重要な任務だったのである。



『えちご川口温泉』

ホテルサンローラからのお知らせ

この度、新聞折り込みにて日帰り温泉の割引券を川口の方々にお送りいたしました。お気づきになりましたでしょうか？どうも見当たらないという方はよってげカード取扱店に置いてあります。ぜひお越しくださいませ。



おしらせ



五月二十六日 川口小学校運動会

六月三日 川口公民館グラウンドゴルフ大会

運動公園パークゴルフ場

午後一時より

六月十日 田麦山ロードレース大会

午前九時スタート



『おくやみ』

平成二十四年四月二五日ご逝去

桜井美枝さん（大形 久治右衛門）享年八十七歳

平成二十四年五月四日ご逝去

大淵東作さん（前原 東五郎）享年八十四歳

謹んでご冥福をお祈り致します

訂正とおわび

四月号のおくやみ欄で小川ハルさんのご逝去を

平成二十四年三月二十一日と記載しましたが

正しくは、平成二十四年三月十九日でした。

訂正しておわび申し上げます。



編集後記

山々の緑がまぶしい季節になりました。田植えの準備も順調に進んでいるようです、冬眠からさめて田麦山にも活気がもどってきて、ようやく春が来た感じがします。それでも、まだまだ寒暖の差が大きい日が続いています、体調管理には充分注意をして過ごしましょう。